



College report

vol.23
2020.11

東京聖栄大学報



元気食堂メニュー



食品学科「化学実験」



コロナ対応の授業（間隔の確保）



臨地実習報告会

● C O N T E N T S ●

学長メッセージ／大学トピックス……………	2・3	地域共創／後援会／聖栄会／人事……………	10・11
管理栄養学科の活動／食品学科の活動……………	4・5	令和元年度決算報告／教育研究充実募金……………	12・13・14
研究関連……………	6・7	附属わたなべ幼稚園／附属調理師専門学校……………	15
学生支援センター／学友会……………	8・9	大学トピックス／学生募集要項……………	16

学長メッセージ



状況変化対応能力を発揮： 総合「食」専門家育成大学の新たな認識

学長 田所 忠弘

東京聖栄大学には「食」追究維持の原動力、「感性」と「科学性」両立を目指す教育に確固たるものがあります。110万人もの命を奪っているコロナ危機にも教育立場も踏まえ、食新たな時代幕開けに創造力と実践力をも持ち合わせた学生育成に全教職員スタッフが敢然と支援していることから最初の危機を乗り越えました。一方、食品衛生管理者教育養成施設、都による厳しい査察講評でもほぼ満点の評価を頂戴致しました。よって改めて本学が対外的にも力強さを発揮できる「食」の大学である点、学生、保護者の皆様、卒業生、全教職員にも、再認識頂ければ幸いです。常識と個人自由度、生命と経済バランスをどう天秤にかけ、いかに実践的生活を維持できるかが世界中の指導者達の苦慮現実かと思えます。本学の強さは「食」意識と生活を支える人の「感性」と裏付「科学性」が全教職員の意識にあるが故と言ってもよく、この機、本学を再認識し、新しい価値観共有可能な大学への継続努力を皆で続けましょう。

大学トピックス

祝

復興大臣ご就任 本学顧問 平沢勝栄先生

本学顧問である平沢勝栄衆議院議員が復興大臣にご就任されました。
平沢顧問からメッセージを戴きましたので、ご紹介いたします。

【メッセージ】

私は去る9月16日に発足した菅義偉内閣において、復興大臣を拝命いたしました。小学校から高校まで福島県で育った者として、この度の職務はまさに天命であり、身の引き締まる思いであります。

来年3月で大地震から10年を迎えますが、私はその先を見据え、被災地の方々の心に寄り添い、被災地の再生・復興に全力で取り組む所存です。

東京聖栄大学におかれましては、葛飾にあって地域に融けこんだ教育活動を行なっておられ、区民の皆さんから大変に感謝されています。とりわけ食と栄養の専門大学としての特色を生かし福島県塙町の産業活性化・復興支援に力を入れてこられました。

このことについても復興大臣として厚く御礼申し上げます。

貴学の益々のご発展をお祈りし、大臣就任のメッセージとさせていただきます。



令和2年10月吉日

復興大臣
衆議院議員 平沢 勝栄

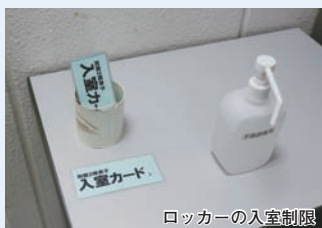
「新しい大学生活マニュアル」から見る 本学の新型コロナウイルス感染防止対策

3月から本格化した新型コロナウイルス感染症は全世界に広がり猛威を振るっています。

本学では、コロナ禍でも「大学の学びを止めない」をスローガンに、5月にオンライン授業を開始させ、6月にはリスクを回避した対面授業もスタートさせました。ここでは本学の新型コロナウイルス感染防止のため、さまざまな取り組みをレポートします。

学内でのコロナ対策

各所にアルコールを設置やサーモグラフィを用いた検温、ロッカールームの入室制限、ランチルームなどの学内施設内のソーシャルディスタンスを確保しています。



オンライン授業の導入

これまでと違う授業対応の中、本来の学習目標を達成できるよう教員も学生も取り組んでいます。また、研究室から授業を配信しています。



対面授業のスタート 新入生を出迎えます。（入学おめでとう！）



対面授業は少人数制の導入やフェイスシールドを着用します。



新しい大学生活マニュアル

「3密を避け、大学生活を安全安心に過ごすために」



新型コロナウイルスの感染防止として、こうした3密の発生を抑制することが重要です。イベントや集客などの型付けを避けよう工夫しましょう。

- 日常の過ごし方（健康管理—自分の健康は自分で守ろう！）
- 大学に来る前
- 学内での過ごし方
 - ・授業（座学授業・実験実習）
 - ・ランチ
- ロッカー室・更衣室の使い方
- 施設の使い方
- 図書館・情報処理実習室・ロッカー・更衣室・エレベーター・トイレ・喫煙コーナー

東京聖栄大学

「新しい大学生活マニュアル」が作成され、これを守り大学生活を送ります。

学生・教職員の健康観察記録、毎日の検温、教室・施設はソーシャルディスタンスを守る工夫がされています。定期的な消毒や換気に努めています。

管理栄養学科の活動

管理栄養学科長 宮内 真弓

新型コロナウイルスの感染が広がり人との交流が制限され、人と人とのつながり、地域とのつながりを活動の基本としていた管理栄養学科としてはほとんどの活動が中止となりとても残念です。そんな中、授業での工夫を紹介したいと思います。ロールプレイの授業ではアクリル板を使用、ZOOM授業ではブレイクアウトルーム、投票機能などを使い参加型の授業を行っております。臨床関係ですが、令和2年度の診療報酬の改定で情報通信機器を使用しての栄養指導が算定することが可能となりました。学生は運よくこの情報通信機器を使用した体験ができ、今後に生かされることと思います。人と会っての交流が制限されたことで「人は人とつながる」ことが大切であることを実感しました。この状況下で、学生が人を大切にする、人を思いやる気持ちを学んでくれればと思います。

かつしかの元気食堂 メニューの写真撮影

例年、葛飾の区民のために給食経営管理実習の履修者である3年生が、かつしかの元気食堂のメニュー開発をしています。試作を繰り返し、コンテストを実施し、区民をお招きして試食会を行っていますが、今年はコロナ禍の影響により、当初の計画と異なりましたが、9月19日に学生の登校時間をずらしながら、密にならぬよう、メニューの写真撮影を東京工芸大学の勝倉准教授の研究室と共に実施しました。器や料理の盛り付け方、背景となる布に至るまで、いろいろとこだわり、素敵な写真がたくさん撮れました。今年も葛飾区の中で活用されています。



撮影当日の様子



研究室紹介

給食経営管理研究室(風見 公子 准教授)

本研究室は、給食経営管理論の中の栄養管理に特化しています。特にメニュー開発と栄養教育、アスリート、幼児がキーワードとなっています。今年度は、日本大学の学生アスリートの栄養教育と神奈川大学とのITを活用した学校給食メニューの開発はオンラインを使用し、栄養教育や会議を持ちました。ポディービルダー対象の弁当の開発、わたなべ幼稚園の食育は対面で行います。それらと同時にゼミ生は国試対策にも力を入れています。



※写真撮影の為、マスクを外しています。

公衆栄養学研究室(佐藤 ひろ子 准教授)

今般、国際的な感染症の流行の下、新たな生活様式が模索されています。公衆栄養活動はこれまで住民参加やコミュニティを重視し、地域の食生活改善について推進してきましたが、今後どのような在り方が良いかが課題です。本ゼミでは、現役行政栄養士や先輩をゲストに迎え、行政課題、特に高齢者の低栄養についてお話を聞く機会を多く取り入れ、ゼミ生と一緒に現状認識ができればと思います。また、管理栄養士国家試験学習やフレイル予防の動画作成を通して、何よりも自主性とチームワークを大切に進めています。



食品学科の活動

食品学科長 北村 義明

新型コロナウイルス感染症の感染防止の措置として、例年開催している新入生宿泊研修と2年次生のフィールド研修は中止となりました。また、延期となっている昨年度1年次生の市場見学と、次春実施予定の現1年次生の市場見学も、開催できる時期を見極めるまで延期となっています。

学科の近況報告

食品学科で取得可能な資格の一つに、食品衛生管理者、食品衛生監視員資格があります。食品衛生管理者は、食品の製造又は加工を行う事業者がその施設ごとに任命する義務がある管理者で、食品衛生監視員は公務員、例えば保健所等の職員として、飲食店の衛生指導や卸売市場の検査所で衛生管理・検査等に従事するものです。本学の卒業生も、食品衛生監視員職で採用され、東京都足立区環境部で活躍しています。両資格とも食品衛生法に定められた要件を満たした者のみが任命され得ますが、本学食品学科は、両資格者の養成施設に指定されています。この養成施設として適切であるかどうかを定期的に確認するための現地調査が、9月25日に東京都福祉保健局の2名の職員により実施され、大きな指摘はなく終了しました。



ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC/MS)

研究室紹介

食品開発研究室(谷本 守正 教授)

先々代の井筒先生、先代の塩谷先生を引継ぎ4月より赴任いたしました谷本守正です。雪印乳業(現 雪印メグミルク)で31年、その後山梨大学で9年の教員生活を経て参りました。東京聖栄大学では2011年から非常勤講師としてお世話になっています。専任となり、東京聖栄大学の学生皆さんのすばらしさを一層実感しています、食に対してのセンス(例えば;おいしいものを手際よく作る)は抜群だと思います。私も食べること、飲むことが大好きです。年を重ねてもいつまでもおいしく食べたいと、「食感創造研究」「嚥下・咀嚼研究」に興味を持っています。また、チーズやヨーグルトに代表されますが、「乳が凝固する過程や状態をコントロールする研究」にも興味があります。学生一人一人の強みを引き出し、更なる強みを創り、活かしていけるような気づきを与えることが出来たらと思っています。よろしくお願いいたします。



応用微生物学研究室(篠原 優子 講師)

本年4月から食品学科応用微生物学研究室に在籍しております篠原優子です。これまでは微生物を用いた環境浄化、特に有機塩素系化合物による土壌・地下水汚染の浄化に関する研究を行ってまいりました。

直接、食とは関係ない分野のようですが、安全な食の原材料を得るには、健全な水・土壌環境が必須と考えられますので、引き続き食の安全確保のためにも環境の浄化、保全の研究を続けてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。



食品学研究室(折口 いづみ 助教)

前職は4年間、助手として実験実習の補助をしておりました。現在は主に化学系の授業を担当し、食品学研究室に在籍しております。専門は食品化学で、食品成分やにおい成分に関する分析が主な研究内容です。高精度のテクスチャーアナライザーや今年度新しく納入されたGC/MS、粘度計等を是非活用させていただき、自身や学生さんの研究の幅を広げられたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



- ・食品学科では毎年、各種研修や地域のイベントへの参加等を行っていますが、全ての行事がコロナの影響により中止となりました。
- ・今年も福島県塙町からの受託研究としてキノコを利用した加工品、新しいメニューの開発は各研究室の学生も交えて行います。

研究関連

科研費

KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

○米飯類の冷蔵による食味低下を視覚的かつ定量的に示す品質評価法の構築とその応用

若手研究 研究代表者：大田原 美保教授

炊飯直後の米飯は透明感があり、程よい硬さと粘りを持ち美味しいものですが、保存のために冷蔵すると外観や食感の変化が生じて食味が低下してしまいます。食品産業界において、食味低下を客観的に捉える評価法の確立と炊飯後の品質制御は重要な課題です。我々は冷蔵によって米飯の透明性が低下する現象に着目し、厚さ0.1mmに機器で圧縮した米飯粒の顕微鏡観察を行い、その画像解析で捉えた変化から食味低下を視覚的・定量的に捉える新しい手法（以下、圧縮米飯粒法）を検討してきました。本手法は現在、白飯以外の飯への適用条件を検討して汎用性を高める段階にあります。本研究では、外観、味、物性が異なる米飯の圧縮米飯粒法のデータを蓄積し、官能評価や客観的測定値との相関関係を総合的に分析して、様々な米飯類の冷蔵による食味低下を視覚的かつ定量的に示す品質評価法の構築を目指しています。

○初等・中等教育家庭科における「だし教育コンテンツ」の開発と活用

基盤研究（C） 研究代表者：福留 奈美准教授

「だし」は和食文化を特徴づける重要なキーコンテンツのひとつです。小学校家庭科では、これまでも5年生のみそ汁を作る調理実習でだしを取ることをしてきましたが、新しい学習指導要領（平成29年告示）では「和食の基本となるだしの役割」が明記され、「だし」をどう教えるかが問われることになりました。しかし、だしの取扱いに関する教師研修の機会も教材研究のための情報蓄積も不十分な現状があります。そこで、本研究では、だし教育のためのさまざまな教育コンテンツ（たとえば教材として使いやすい図表や各種データ、動画、ワークシート、活動アイデアなど）を開発し、現場教師の意見を反映して改良を加え、だし教育コンテンツのモデルとして情報公開し提案することを目指しています。

○「日本人高齢者における骨格筋量と筋血流量の関連」

若手研究 研究代表者：膳法 浩史講師

加齢に伴う筋量と筋力の減少（サルコペニア）について研究を行っています。我が国はどの国も経験したことのない超高齢社会の国であり、15年後には3人に1人が高齢者であると推計されています。世界中が日本の高齢化対策の動向に注目しています。この研究では、いかに高齢者が自立して健康なままで生活できるかを目標に活動しています。そのためにメカニズムが不明であるサルコペニアを解明することで高齢者の自立した生活を支援できるのではないかと考えています。具体的には、高齢者において血流量の減少がサルコペニアに関係しているのではと仮説を立てており、そのデータを蓄積していきます。血流の測定には超音波エコーを利用しています。

○「スポーツ傷害（靭帯損傷・筋損傷・疲労骨折）を規定する機能的遺伝子多型の解明」

基盤研究（B）（一般）研究分担者：膳法 浩史講師（代表：福 典之 順天堂大学准教授）

スポーツ傷害は競技力に対して単にマイナスに影響するだけでなく、時として選手生命さえも脅かすことがあります。スポーツ障害の予知として遺伝子情報が活用できるのではないかと考えています。具体的には、競技アスリートを対象として靭帯損傷、筋損傷、疲労骨折といったスポーツ傷害に関連する遺伝要因について、全ゲノムDNAを対象とした網羅的遺伝子多型解析という手法を用いて明らかにします。共同研究者と協力することで既に二千人を超えるアスリートのDNAを得ています。スポーツ傷害に関連する遺伝子とその機能を解明することで、個人対応型のスポーツ傷害予防法の開発に貢献することを最終目標としています。私の担当は遺伝子解析であり、今後更なる発展を遂げるビックデータ解析に対応できるようにしています。

特別研究・共同研究発表会

コロナ禍において令和元年（2019）年度特別研究・共同研究発表会の開催が延期になっていましたが、本年度の令和3年2月20日（土）に開催を予定し、準備を進めております。

「令和元（2019）年度 東京聖栄大学 特別研究・共同研究」発表会（予定）

日時：令和3年2月20日（土）

◎発表者・研究題目

No.	代表申請者	研究別	研究課題
1	福田 亨	特別	神経系による骨代謝調節機構の解明
2	大田原美保	特別	米飯の初期老化に及ぼす調味料添加の影響
3	大塚 静子	共同	給餌方法の違いによるタンパク質ならびに脂肪摂取量がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について（Ⅲ）—調整食給餌—
4	風見 公子	共同	幼児期の食生活習慣について
5	片山 佳子	共同	落花生の抗がん作用
6	小林 陽子	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
7	小林 陽子	特別	地域子育て支援拠点における乳幼児を対象とした食育に関する研究
8	吉田真知子	特別	幼児を持つ保護者の食教育におけるグループ体験学習の導入 ～好き嫌いをテーマとしたプログラムの実施（継続研究）～

令和2（2020）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。本年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の表の通り採用決定しました。

令和2年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題
1	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明
2	大田原美保	特別	米飯の初期老化に及ぼす調味料添加の影響
3	大塚 静子	共同	給餌方法の違いによるタンパク質ならびに脂肪摂取量がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について（Ⅲ）-2 —調整食給餌—
4	風見 公子	共同	幼児期の食生活習慣について
5	風見 公子	共同	食欲の抑制の研究 食事のたんぱく質エネルギー比率の相違で食欲に相違がみられるか
6	片山 佳子	共同	落花生味噌の抗がん作用Ⅱ
7	小林 陽子	共同	葛飾区との協働による元気な食応援店（旧食育サポート店）における情報発信に関する研究
8	小林 陽子	特別	地域子育て支援拠点における乳幼児を対象とした食育に関する研究
9	膳法 浩史	特別	骨格筋線維組成と2型糖尿病発症における因果関係のある遺伝的要因の同定

学生支援センター

就職支援

令和2年3月卒業生就職結果

第12期生（令和2年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で99.4%でありました。これは文部科学省集計の全国の大学卒業生の就職率98.0%を上回る結果でありました。学科別には、管理栄養学科が99.0%、食品学科が100.0%でありました。また、実質就職率は（就職者／（卒業生－大学院進学者））、95.9%でありました。

【卒業生170人／就職希望者数163人／就職決定数162人／大学院進学者1人】

本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

<進路・就職結果>

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	98	64	162
就職未内定者	1	0	1
<就職希望者>	<99>	<64>	<163>
進学者	1	0	1
その他	3	3	6
卒業生	103	67	170

主な就職先

【管理栄養士・栄養士】

(公務員) 埼玉県栄養教諭、相模原市管理栄養士 (病院) (医) IMSグループ、(福) 仁生社 江戸川メディアケア病院、(福) 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 (給食会社) エームサービス(株)、(株)グリーンハウス、シダックス(株)、西洋フード・コンパスグループ(株)、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)センダン、東京天竜(株)、(株)日京クリエイト、(株)ニココトラスト、日清医療食品(株)東京支店、ハガクレフード(株)、富士産業(株)、(株)ベネメール、(株)馬淵商事、(株)メフォス、(株)LEOC (幼稚園・保育園) (株)グローバルキッズ、(株)さくらさくみらい、(福) 砂原母の会、(学) 東京聖栄大学 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園、(福) 東和福祉会 八幡南保育園、(株)日本保育サービス、(福) 日の出保育園 日の出保育園、(株)ボピンズ (薬局) ウェルシア薬局(株)、(株)くすりの福太郎、(株)クリエイトエス・ディー、(株)ココカラファイン、(株)富士薬品、(株)マツモトキヨシ (その他) イニシオフーズ(株)、(株)ABC Cooking Studio、(株)シャノアール、SOMPOケア(株)、デリカフーズ(株)、(株)ニチイケアパレス、(公社) 日本食品衛生協会

【研究・分析・開発・製造（食品・化学）】

イセデリカ(株)、イニシオフーズ(株)、壽食品工業(株)、三州製菓(株)、(株)シェフォーレ、タイハイ(株)、滝沢ハム(株)、デリカフーズ(株)、(株)虎昭産業、(株)ニッセーデリカ、日東ベスト(株)、(株)ハーヴィインターナショナル、(株)八天堂さくらづ、フジパングループ本社(株)、(株)文明堂東京、山崎製パン(株)、(株)八幡屋磯五郎、UNITED FOODS INTERNATIONAL(株)

【調理】

(株)オールハーツ・カンパニー、(株)ジェイグループホールディングス、(株)シャノアール、(株)東京ベイ舞浜ホテル、(株)東武ホテルマネジメント、(株)まつおか、メルパルク(株)

【営業・販売】

アサヒ飲料販売(株)、(株)アベックス、(株)オザム、(株)クリエイトエス・ディー、桂新堂(株)、ゴティバジャパン(株)、(株)コモディイイダ、(株)スーパーバリュー、大都魚類(株)、(株)ブルーランジェリーエリックカイザージャパン、(株)メルヘン、(株)ユニマットライフ、(株)ヨークマート

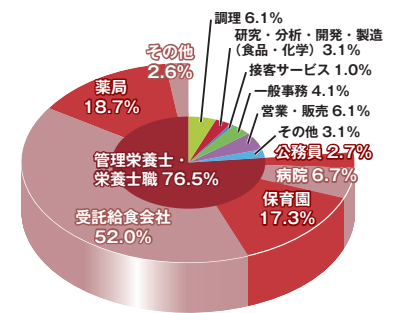
【一般事務】

プレミアムウォーター(株)、(株)ワタリ

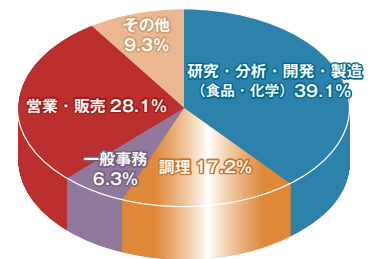
第12期生(令和2年3月卒業生)の就職状況(就職率100%)

職種別就職先グラフ

●管理栄養学科(就職率99.0%)



●食品学科(就職率100.0%)



令和3年3月卒業生就職内定状況

(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、今年度の大卒求人倍率は1.53倍と差昨年度1.83倍と比較すると、新型コロナウイルス感染拡大の影響で0.3ポイント低下しましたが、バブル崩壊時やリーマンショック時の水準までは落ち込まない結果といえます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が大学生の就職活動にも大きな影響を及ぼしました。4年次生の就職活動が本格化した時期と重なり、合同企業説明会の中止、採用活動のWEB化など、学生は今まで経験したことのない就職活動を強いられることになりました。4月には、国による緊急事態宣言も発令され自粛を余儀なくされた中で、就職活動中の学生に対して、学生支援センターでは、メールでの履歴書添削や就職相談等を実施しました。本学の4年次生の就職内定状況(10月31日現在)は、学部合計で81.3%(昨年度89.2%)であった。学科別には、管理栄養学科が86.8%(昨年度88.2%)で、食品学科が74.6%(昨年度90.8%)であり、今後も就職未内定者に対し、継続して個別に就職支援を行っていきます。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

就職支援アドバイザー

コロナ禍の厳しい現実ではありますが、企業の求人活動は粛々と進められています。1年生から4年生まで、今それぞれ何を準備しなければならないか。長年、食品企業で品質管理部門と経営企画部門を担当してきました経験を生かして、皆さんの相談に乗れればと思っています。まずは就職に関する疑問、悩みを解消してください。



吉川 恵則

企業の採用活動の開始は早まって来ており、3年生の夏休みとそれ以降に開催されるインターンシップを受けた学生が実際の選考試験では有利になる傾向があります。すなわち、早く就職活動を始めて自分の進路を考えることが大切です。就職活動について具体的に指導やアドバイスを致しますので気軽に面談に来てください。



藤田 明男

Information

修学支援新制度について

高等教育の修学支援新制度は、大学等の高等教育における授業料や入学金の減免と日本学生支援機構の給付型奨学金による制度として2020年4月からスタートしました。

本学は、文部科学省から高等教育の修学支援新制度の支援対象校として認定され、授業料・入学金の一部減免と給付型奨学金により、学修意欲のある学生みなさんの「学び」を支援しております。

修学支援新制度の授業料・入学金の減免に関しては『大学（本学）』に申請、給付型奨学金に関しては、本学を通じて『日本学生支援機構』に申請して下さい。

【修学支援新制度に関するWEBサイト】

(下記QRコードからもアクセスできます。)

- 文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



文部科学省
修学支援新制度

- 独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「奨学金の制度（給付）について」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>



日本学生支援機構
給付型奨学金

- 独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>
※「進学資金シミュレーター」は、スマホ用アプリもあります。



進学資金
シミュレーター
(支援区分確認)

その他、貸与・給付等の各種奨学金制度に関しては、学生支援センターまでお問合せください。

学友会

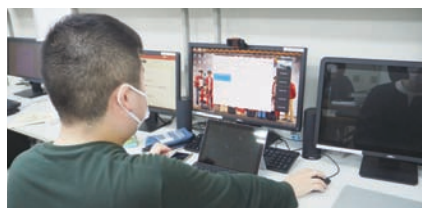


学友会会長
管理栄養学科 3年次生
高島 恭

今年度、学友会会長に就任致しました管理栄養学科の高島恭です。本来であれば、この時期には様々な行事の企画運営の活動に励んでいるところですが、新型コロナウイルスの影響で、例年通りの活動が行えておりません。そこでオンラインでの活動を模索しています。今年度の学友会総会は初めてオンラインで開催し、パソコンの機能を活かしつつ、会を進行させて頂きました。また、役員会の定例会も同様で、資料の共有を工夫し活動しています。これからもオンラインという環境が活かせるような活動を考え、行っていきたいと思います。初めての事態で学生の皆様は非常に困惑していると思いますが、学友会は皆様の大学生活がさらに充実し、活動しやすいものになるよう、役員全体が一丸となって精進致します。これからも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

令和2年度学友会役員一覧

役職名	学年クラス	氏名	役職名	学年クラス	氏名
会長	3NA	高島 恭	体育祭実行委員会 副委員長	3NB	原 亮
副会長	3NA	小野 亜海		3FA	秋山 麗那
	2NB	小池 優輝		2NB	松本 聖輝
	2NB	政木 南穂		2FA	喜入 祐人
総務	3NB	波多 康利	2FA	菅井 楓恋	
	2NA	島倉 涼音	大学祭実行委員会 委員長	3NA	遠藤 佑夏
	2FA	白石 和詩		3FA	池島 菜々
	2FB	深谷 匠実	2NA	大川 里穂	
会計	3NA	小竹 雄介	大学祭実行委員会 副委員長	2NB	柳下 麗菜
	3FA	石田日菜子	2NB	中村 純大	
	2NA	佐藤 里彩	委員 会者	3FB	宮川 大澄
会計監査	2FB	田島 唯花	委員 会者	2NB	成嶋 七海
	3FA	新 果南	部・同好会 責任者	3NA	犬塚 千聖
体育祭実行委員会 委員長	2FB	藤本 秀	部・同好会 責任者	2NA	佐藤 玲菜
	3FA	井上友理奈	部・同好会 責任者	2FA	菊地 千絵



役員会オンライン

地域共創・食育活動

公開講座

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、当初予定していた講座の実施が難しい状況になりました。しかしながら、地域貢献という社会的使命を踏まえ、十分な感染症対策を行い、定員を減らした上で大学2講座（健康栄養講座・食品流通講座）を実施しました。どちらの講座も定員を大幅に超えるお申込みをいただき、地域の皆様からの期待の高さが伺われました。

健康栄養講座では、「意外と大事な『骨』の話～骨を知って健康に～」と題し、食品学科 福田 亨教授による骨の働きと健康への関わりについての講義が行われました。食品流通講座では、「どっちが安い？～生産者からの直接購入か？小売店での購入か？～」と題し、食品学科 藤島 廣二客員教授による生産者からの購入と小売店での購入の違いについての講義が行われました。どちらの講座も、参加者の高い満足を得ることができました。

12月には、附属調理師専門学校によるデモンストレーション座学講座「さつまいもの和洋菓子作り」（野口栄教員）を実施予定です。



健康栄養講座の様子（食品学科 福田 亨教授）
（「意外と大事な『骨』の話～骨を知って健康に～」）

食品ロス削減への取組み

本学は、地元自治体である葛飾区と、相互の発展・区民生活向上への寄与を目的として様々な取組を協力して行っています。取組の一つとして、「食べきり・使いきりメニュー」レシピ作成があります。これは「食材の保存方法」・「保存野菜の使い方とおすすめレシピ」・「捨ててしまう部分の活用法」・「料理のリメイク」などを通じて、食品ロス削減を推進するものです。この活動から発展した「食べきり・使い切りメニュー料理教室」も令和元年度から始めています。令和2年度は、葛飾区が新規に実施した「食べきり・使いきりメニュー コンテスト」において、食品学科 吉田光一准教授、専門学校 村上匡教員が、審査員として協力しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、学生の協力を得た活動が難しくなっていますが、葛飾区内の様々な課題の解決に向けて、教職員・学生一丸となって引き続き取り組んでいきます。

食べきり・使いきりメニューコンテスト入賞者が決まりました

食品ロス（食べられるのに廃棄されている食品）を削減するため、食材を無駄なく使いきる料理レシピを募集した結果、29作品の中から、次の方が入賞しました（敬称略）。（審査：東京聖栄大学および東京聖栄大学附属調理師専門学校）【担当課】リサイクル清掃課 ☎03-5654-8273

★リチャン賞
岩井由彩「キャベツの芯までロールキャベツ」
相浦優衣「キャベツの芯のフライ」
ずぼら母さん（クックネーム）
「白菜とカブとしいたげの煮るだけかんたんミルクスープ」
土門美由紀「調味液漬け」
Leon（クックネーム）「にんじんの皮でたきこみご飯」
藤原千裕「1口豚ネギカツ」
自炊番長（クックネーム）「ヘルシー大根餃子」

★最優秀賞
南美紀子
「ブロッコリーの芯の豚肉まき」

★優秀賞
土井希子
「春菊の茎のきんぴら」

ペンシェフ
（クックネーム）
「ごろごろスープ」

入賞者のレシピの展示
▶10月5日（月）～14日（水） 区民ホール（区役所2階）
▶10月5日（月）～30日（金）
かつしかエコライフプラザ（立石1-9-1）
リサイクル清掃課（区役所4階409番）
入賞者のレシピについては、区ホームページやかつしかエコライフプラザ通信に掲載します。

出典：広報かつしか令和2年10月5日号

地域共創・食育イベント行事一覧 (2019年10月～2020年12月)	
開催日	行事名
令和元年10月14日	かつしかスポーツフェスティバル2019
令和元年10月26日	新小岩駅東北ひろばまつり2019
令和元年10月11日	地域美化プランター秋花苗植付
令和元年11月9日 ～11月10日	『聖栄葛飾祭』において後援・共催事業協力 (一社) 全国栄養士養成施設協会 (公社) 日本フードスペシャリスト協会
令和元年11月8日 ～11月10日	第20回 新小岩文化祭
令和元年11月24日	かつしか健康食育フェア2019
令和元年11月16日 ～11月17日	かつしかフードフェスタ2019
令和2年3月17日	地域美化プランター春花苗植付
令和2年9月5日	公開講座 (健康栄養講座・食品学科 教授 福田 亨)
令和2年10月17日	公開講座 (食品流通講座・食品学科 客員教授 藤島 廣二)
令和2年12月12日	公開講座 (座学講座・附属調理師専門学校 教員 野口 栄)

上記以外のイベントにも参加協力等を行っております。

2020年 新型コロナウイルス拡大及び防止対策に伴い中止となった行事等 (例年行っている参加協力事業一覧)	
開催時期（例年）	行事名
3月頃	かつしかふれあいRUNフェスタ
5月頃	わんぱく相撲葛飾区大会
6月頃	食育読み聞かせ会
8月頃	新小岩駅前祭り
9月頃	かつしか元気食堂 ヘルシーメニューコンテスト・試食会
10月頃	新小岩駅東北ひろばまつり
11月頃	『聖栄葛飾祭』において後援・共催事業協力 (一社) 全国栄養士養成施設協会 (公社) 日本フードスペシャリスト協会 新小岩文化祭 かつしか健康食育フェア かつしかフードフェスタ 福島県町町産業祭

上記以外にも新型コロナウイルスの影響に伴い中止となった行事があります。

後援会の活動



後援会会長
津田 眞利

昨年暮れに始まりました新型コロナウイルスの世界中への蔓延という、ある意味今までとは違ったウィズコロナという異例な現実のもと本年度の後援会活動が始まりました。

東京聖栄大学は大学として15年を迎えられ、教職員のご指導のもと「食と栄養」のエキスパートを育て上げる教育機関として着実な歩みを進められていることは喜ばしい限りでございます。

本年度も後援会としましては、本学で学ばれる学生皆様が有意義な大学生活が過ごされますよう学友会活動の補助、就職・社会活動への協力、教育事業への支援、コロナ対策等学校の発展・向上に寄与して参ります。また大学と保護者との橋渡しの立場であることを考え、綿密な関係を図るため、教職員とのリモート会議や後援会会報の発行を行って参ります。

今年度も後援会としましては本学の更なる発展を期待し学生の皆様へのより細かな支援を続けて参ります。

後援会の主な活動 令和2年度

○後援会会報の発行（年2回発行予定） ○会議の開催（定期総会 役員会）

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、保護者会を中止し、役員会をオンラインにて開催しました。

聖栄会の活動



聖栄会会長
高橋 興亜

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、感染予防として3密を避けるため、活動を中止しております。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、大学と連携し聖栄会活動を推し進めてまいります。

同窓会は、会員の親睦と資質の向上、そして大学行事へも積極的に参加しながら、卒業生それぞれが社会で大いに活躍し、母校の知名度を高めていくことが努めであると認識しております。

また、在校生についても、各分野における卒業生の活躍状況などを知り進路を考える場を作ることをきっかけに、会組織の拡大と充実に繋げていきたいと考えております。

聖栄会の主な活動 令和2年度

○4月 聖栄会だより発行 ○6月 定期総会・役員会（延期） ○3月 卒業生への記念品贈呈

※例年「体育祭への協賛」、「大学祭の協力」等を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により活動を自粛しております。

人事について（順不同 敬称略）

職員

令和2年7月1日付

■昇任

法人事務局総務部長（総務課長 兼務）
金子 俊也（事務局参事・総務課長）
大学事務部事務部長（学務課長 兼務）
横塚 友子
（大学事務部次長、学務課長・
学生支援センター長 兼務）
大学事務部学生支援センター長（課長、室長 兼務）
小田 義明
（学生支援・就職支援課長、学生相談室長）

法人事務局施設管理課主任
関口 淳一（施設管理課 課員）

■兼務を解く

大学事務部長兼務を解く
高橋 成彰
（法人事務局長、大学事務部長 兼務）

令和2年8月24日付

■採用

法人事務局総務部財務課
萩原 昂輝

令和2年10月1日付

■心得を解く

大学事務部学務課 課長補佐
金丸 亜樹（学務課 課長補佐心得）

■昇任

法人事務局総務部財務課 係長
島田 健晴（財務課 主任）
大学事務部学生支援センター
学生支援・就職支援課 係長
矢作 秀代（学生支援・就職支援課 主任）
法人事務局総務部総務課 主任
伊澤 由莉（総務課 課員）

令和元年度決算報告

本学の令和元年度末における財務の概況は、次のとおりです。

収入は、主な財源の学生生徒等納付金収入が、入学定員の確保により安定しています。

一方、支出は、人件費をはじめ、支出抑制を行っており、元年度の目標である収支均衡による財政健全化に努めましたが、元年度決算では、基本金組入前当年度収支差額（旧：帰属収支差額）は、3,100万円の支出超過（赤字）となり、9期ぶりに支出超過へと転じてしまいました。

1. 資金収支計算書

令和元年度の資金収支規模は、32億9,900万円となりました。前年度より6億4,200万円増加していますが、有価証券の早期償還に伴う売却収入6億6,700万円などが大きな要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は20億6,400万円で、支出額は21億2,600万円となり、6,200万円の支出超過となりました。

資金収支計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）（単位 千円）

	資金収支計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）（単位 千円）			
	科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,047,021	1,047,364	△343
	手数料収入	17,452	17,727	△275
	寄付金収入	6,408	6,678	△270
	補助金収入	148,175	147,742	433
	国庫補助金収入	95,565	95,565	0
	都県補助金収入	49,769	49,336	433
	区市補助金収入	2,841	2,841	0
	資産売却収入	667,815	667,814	1
	付随事業・収益事業収入	13,860	12,125	1,735
	受取利息・配当金収入	36,921	37,067	△146
	雑収入	14,101	14,162	△61
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	425,283	445,239	△19,956
	その他の収入	146,352	147,357	△1,005
	資金収入調整勘定	△477,281	△478,797	1,516
	前年度繰越支払資金	1,234,598	1,234,598	
収入の部合計	3,280,705	3,299,076	△18,371	
支出の部	人件費支出	723,549	723,541	8
	教育研究経費支出	261,929	261,928	1
	管理経費支出	104,294	104,096	198
	借入金等利息支出	1,320	1,320	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	27,628	27,626	2
	設備関係支出	93,319	93,311	8
	資産運用支出	886,466	886,465	1
	その他の支出	23,596	32,373	△8,777
	〔予備費〕	3,425		3,425
	資金支出調整勘定	△23,679	△16,621	△7,058
	翌年度繰越支払資金	1,166,638	1,172,817	△6,179
	支出の部合計	3,280,705	3,299,076	△18,371

2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は12億8,300万円で、事業活動支出は13億1,400万円であり、基本金組入前当年度収支差額は3,100万円の支出超過（事業活動収支差額比率△2.4%）となり、基本金組入額（1億円）を控除した当年度収支差額は1億3,100万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率111.1%）

その結果、翌年度繰越収支差額は6億5,800万円と支出超過額が増加しました。

事業活動収支計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）（単位 千円）

	事業活動収支計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）（単位 千円）			
	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	1,047,021	1,047,364	△343
	手数料	17,452	17,727	△275
	寄付金	6,510	6,877	△367
	経常費等補助金	147,675	147,242	433
	国庫補助金	95,565	95,565	0
	都県補助金	49,769	49,336	433
	区市補助金	2,341	2,341	0
	付随事業収入	10,860	9,140	1,720
	雑収入	14,101	14,162	△61
	教育活動収入計	1,243,619	1,242,512	1,107
	事業活動支出の部			
	人件費	732,515	725,771	6,744
教育研究経費	450,446	441,040	9,406	
管理経費	111,634	112,248	△614	
徴収不能額等	660	660	0	
教育活動支出計	1,295,255	1,279,719	15,536	
教育活動収支差額	△51,636	△37,207	△14,429	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	33,739	33,885	△146
	その他の教育活動外収入	3,000	3,000	0
	教育活動外収入計	36,739	36,885	△146
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	1,320	1,320	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	1,320	1,320	0	
教育活動外収支差額	35,419	35,565	△146	
経常収支差額	△16,217	△1,642	△14,575	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	695	694	1
	その他の特別収入	2,455	2,497	△42
	特別収入計	3,150	3,191	△41
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	32,173	32,607	△434
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	32,173	32,607	△434
	特別収支差額	△29,023	△29,416	393
	予備費	1,054		1,054
	基本金組入前当年度収支差額	△46,294	△31,058	△15,236
基本金組入額合計	△103,813	△100,491	△3,322	
当年度収支差額	△150,107	△131,549	△18,558	
前年度繰越収支差額	△483,773	△526,692	42,919	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△633,880	△658,241	24,361	

3. 貸借対照表

令和元年度末の資産総額は8,400万円減の97億8,300万円です。固定資産は1,900万円減の86億200万円になり、流動資産は6,500万円減の11億8,000万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで5,300万円減少し、8億7,700万円となりました。

純資産は3,100万円減の89億500万円となり、財政としては良好な状況です。

貸借対照表 (令和2年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,602,163	8,621,531	△19,368
有形固定資産	5,368,387	5,449,521	△81,134
土地	1,889,388	1,889,388	0
建物	2,971,381	3,072,917	△101,536
その他の有形固定資産	507,618	487,216	20,402
特定資産	530,201	500,050	30,151
その他の固定資産	2,703,575	2,671,960	31,615
流動資産	1,180,463	1,245,502	△65,039
現金預金	1,172,817	1,234,598	△61,781
その他の流動資産	7,646	10,904	△3,258
資産の部合計	9,782,626	9,867,033	△84,407

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	363,184	373,174	△9,990
長期借入金	48,880	61,100	△12,220
退職給与引当金	314,304	312,074	2,230
流動負債	514,009	557,369	△43,360
短期借入金	12,220	12,220	0
前受金	445,239	473,209	△27,970
その他の流動負債	56,550	71,940	△15,390
負債の部合計	877,193	930,543	△53,350

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,563,674	9,463,183	100,491
第1号基本金	9,445,674	9,355,183	90,491
第2号基本金	30,000	20,000	10,000
第4号基本金	88,000	88,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△658,241	△526,692	△131,549
純資産の部合計	8,905,433	8,936,491	△31,058
負債及び純資産の部合計	9,782,626	9,867,033	△84,407

4. 財産目録

資産総額97億9,100万円の内訳は、基本財産54億5,900万円 (55.8%)、運用財産40億700万円 (40.9%)、収益事業財産3億2,500万円 (3.3%) となっています。

また、負債総額8億8,400万円の内訳は、固定負債3億6,300万円、流動負債5億1,400万円、収益事業用負債650万円となっています。資産総額から負債総額を差引いた正味財産は89億700万円で、前年度比3,100万円減となりました。

財産目録 令和元年度 (総括表) (令和2年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,790,703
内 基本財産	5,459,147
運用財産	4,007,071
収益事業財産	324,485
II 負債総額	883,715
III 正味財産	8,906,988

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,459,147
有形固定資産	5,368,387
土地	1,889,388
建物	2,971,381
構築物	40,274
教研機器備品	270,159
管理用機器備品	16,314
図書	177,424
車両	3,447
特定資産	30,000
第2号基本金引当特定資産	30,000
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	4,007,071
現金預金	1,172,817
定期預金	400,000
有価証券	1,917,326
差入保証金	9,080
退職給与引当特定資産	28,123
減価償却引当特定資産	472,078
未収入金	4,928
販売用品	47
前払金	2,372
仮払金	300
3. 収益事業用財産	324,485
土地	185,313
建物	121,063
構築物	211
現金預金	17,898
資産の部合計 (A)	9,790,703

負債額	
1. 固定負債	363,184
長期借入金	48,880
退職給与引当金	314,304
2. 流動負債	514,009
短期借入金	12,220
未払金	14,362
前受金	445,239
預り金	35,366
研修旅行費預り金	6,822
3. 収益事業用負債	6,522
前受金	1,296
未払法人税等	226
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	883,715

正味財産 (A) - (B)	8,906,988
----------------	-----------

5. 5カ年連続事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

平成27年度から令和元年度までの事業活動収支計算書は、別表のとおりです。

5カ年連続事業活動収支計算書（令和元年度）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		全国平均
	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	医歯系を除く %
(教育活動収支・収入の部)											
学生納付金	1,117,494	79.8	1,114,035	80.3	1,094,484	76.0	1,088,310	81.0	1,047,364	81.7	73.3
手数料	22,666	1.6	20,280	1.5	20,328	1.4	21,066	1.6	17,727	1.4	2.7
寄付金	3,730	0.3	6,374	0.5	8,153	0.6	6,794	0.5	6,877	0.5	1.4
経常費等補助金	144,752	10.3	141,674	10.2	164,104	11.4	154,877	11.5	147,242	11.5	11.9
付随事業収入	10,605	0.8	11,814	0.9	11,658	0.8	11,189	0.8	9,140	0.7	3.9
雑収入	37,279	2.7	15,371	1.1	91,646	6.4	19,210	1.4	14,162	1.1	3.2
教育活動収入計	1,336,526	95.5	1,309,548	94.4	1,390,373	96.6	1,301,446	96.9	1,242,512	96.9	96.3
(教育活動収支・支出の部)											
人件費	718,956	51.4	724,760	52.2	837,000	58.2	725,369	54.0	725,771	56.6	52.0
教育研究経費	469,796	33.6	464,868	33.5	458,985	31.9	467,644	34.8	441,040	34.4	32.8
管理経費	107,821	7.7	115,042	8.3	122,802	8.5	110,772	8.2	112,248	8.8	8.6
徴収不能額等	4,060	0.3	667	0.0	0	0.0	2,583	0.2	660	0.1	0.1
教育活動支出計	1,300,633	92.9	1,305,337	94.1	1,418,787	98.6	1,306,368	97.3	1,279,719	99.8	93.4
(教育活動外収支・収入の部)											
受取利息・配当金	53,127	3.8	55,053	4.0	43,374	3.0	34,729	2.6	33,885	2.6	1.5
その他の教育活動外収入	3,200	0.2	2,700	0.2	2,500	0.2	3,000	0.2	3,000	0.2	0.2
教育活動外収入計	56,327	4.0	57,753	4.2	45,874	3.2	37,729	2.8	36,885	2.9	1.7
(教育活動外収支・支出の部)											
借入金等利息	2,199	0.2	1,980	0.1	1,760	0.1	1,540	0.1	1,320	0.1	0.2
その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
教育活動外支出計	2,199	0.2	1,980	0.1	1,760	0.1	1,540	0.1	1,320	0.1	0.2
(特別収支・収入の部)											
資産売却差額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	931	0.1	694	0.1	0.6
その他の特別収入	7,117	0.5	20,076	1.4	2,968	0.2	2,907	0.2	2,497	0.2	1.4
特別収入計	7,117	0.5	20,076	1.4	2,968	0.2	3,838	0.3	3,191	0.2	2.0
(特別収支・支出の部)											
資産処分差額	2,065	0.1	455	0.0	14,751	1.0	9,801	0.7	32,606	2.5	1.5
その他の特別支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.2
特別支出計	2,065	0.1	455	0.0	14,751	1.0	9,801	0.7	32,606	2.5	1.8
基本金組入前当年度収支差額	95,073	6.8	79,605	5.7	3,917	0.3	25,304	1.9	△31,057	△2.4	4.6
基本金組入額合計	△47,239	△3.4	△145,910	△10.5	△71,138	△4.9	△68,223	△5.1	△100,492	△7.8	△10.8
当年度収支差額	47,834	3.4	△66,305	△4.8	△67,221	△4.7	△42,919	△3.2	△131,549	△10.3	△6.2
前年度繰越収支差額	△440,081	△31.4	△392,247	△28.3	△416,553	△28.9	△483,773	△36.0	△526,692	△41.1	△73.3
基本金取崩額	0	0.0	42,000	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.5
翌年度繰越収支差額	△392,247	△28.0	△416,552	△30.0	△483,774	△33.6	△526,692	△39.2	△658,241	△51.3	△77.1

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）30年度

東京聖栄大学 教育研究充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。

現在、新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言後も新たな感染者が確認されています。

本学におきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、学事日程の変更及び面接授業に代えて遠隔授業を行うなど、大学生活を安全安心に過ごすための保健管理や環境衛生を良好に保つような取組を進めております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってきました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださりまして誠に有難うございました。

つきましては、現在新型コロナウイルスによる厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、この寄付金は、**個人の場合は特定公益増進法人への寄付金として所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。**また、**法人の場合は、日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。**

募金要綱

1. 目的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
 2. 募金目標額：1千万円
 3. 寄付金額：1口 1万円
 4. 募集期間：令和3年3月末まで
 5. 申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。
- 詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

募金申込状況

平成20年度から令和元年度までの募金申込状況は下表のとおりです。
この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)
平成20年度	28	5,700,000
21年度	18	4,100,000
22年度	53	7,665,000
23年度	50	6,790,000
24年度	110	7,910,000
25年度	130	8,395,435

年度	申込件数	金額(円)
26年度	137	6,855,000
27年度	139	8,280,000
28年度	109	5,935,000
29年度	95	6,490,000
30年度	73	5,930,000
令和元年度	83	6,628,000

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動

今年はコロナ禍の中で、幼稚園の行事のほとんどが中止や縮小となってしまいました。そのような中で、わたなべ幼稚園の食育活動は例年同様に充実した取り組みを行うことが出来ています。

今年は、管理栄養士として本学卒業生の佐久間玲佳さんが入職されました（佐久間さんは、わたなべ幼稚園も卒園しています）。先輩の栄養士さんからアドバイスをいただきながら、園児の為に日々、季節感あふれる旬を取り入れた、美味しい給食づくりに取り組んでくださっています。夏には園児が育てた夏野菜のナス、キュウリ、トマトなどを給食に取り入れてくださり、園児も喜んで味わうことが出来ました。美味しい給食に笑顔が溢れています。

10月末からは、大学からの実習生を給食室で受け入れる



こととなり、新人の管理栄養士、佐久間さんも張り切っているところです。先輩として良い指導をしてくださることでしょう。こうした経験から新人教職員も徐々に自信をつけ、毎日の仕事に意欲を燃やし取り組むことが出来るようになります。大学との連携の中で、教育が進められますことは大変励みになります。



さて、10月といえば運動会ですが、今年は分散型の縦割りによる運動会を実施いたしました。

どの学年もかけっこやリレー、ダンスやバルーンの競技に頑張っており取り組むことが出来ました。園児一人一人が自分の力を精一杯発揮し、伸び伸びと参加していました。最後に先生方から金メダルをかけてもらい、笑顔で終わることが出来ました。教職員の頑張りにも拍手です。

東京聖栄大学附属調理師専門学校での活動

本校の令和元年度末から令和2年度開始に向けた学内の諸行事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、年次計画の変更を余儀なくされました。本校では、教職員や生徒達の健康と安全、授業の進行の確保を第一に考え対応をすすめています。

「令和元年度卒業式」は、衛生管理の元、式典内容を大幅に簡略化し短時間で3月7日に実施しました。

「令和2年度入学式」は、「入学者説明会」と内容を変え4月3日に実施し、生徒たちは初めて学友たちと顔をあわせ修学の決意を新たにしました。以降、校内は立ち入りが制限され教職員と生徒、生徒どうしの融和はなかなか図れず今後の修学に不安を残した。学業開始の遅延は、修学年限1年の本校としては、なんとしても避けねばならないことであり、5月14日より5月29日の間、講義を先行させたZOOMを利用したオンライン授業を実施しました。生徒の使用機器や習熟の観点から教育効果については手探りの状態が続きました。5月25日の国の緊急事態宣言解除を受け、本校の入校閉鎖も解除し、6月1日に対面型授業（講義、



実習とも)を開始し、オンライン授業を終了しました。これにより入学者説明会以降、全教職員全生徒そろっての学習体制が整いました。1か月以上の授業の遅れは、夏季休暇の短縮や祝日、授業調整期間の活用で取り戻せたものの、調理実技の上達には時間を要するものであるこ

とから、先生方は例年以上の熱意を持って生徒の指導にあたっています。

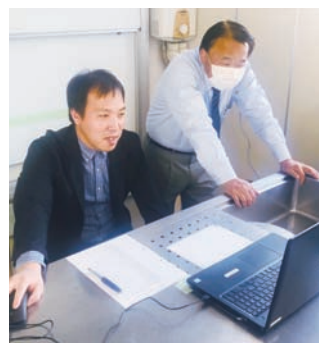
後期における授業の遅れの取り戻しは、時間的に難しいことから感染防止の意識はもとより、入校時の検温、マスク着用、3密の回避、さらには教室をはじめ校舎内の消毒を徹底し、前期にも増した校内の衛生管理を図り、コロナの感染予防につとめています。

予定していた11月の聖栄調理祭も中止になるなか、7月に東京ベイ舞浜ホテル稲葉総料理長（本校卒業生）を招いて特別調理講習会を実施し、9月にはコロナ対策を考慮し東京・浅草かっぱ橋道具街での屋外授業を実施しました。

聖栄調理祭に関わる様々な経験をできない生徒に対し、今年度は、学校生活充実の観点から代替行事を検討しています。

コロナ以外の学校評価活動の取り組みに関しては、「令和元年度自己評価報告書」を作成し、引き続き、学校関係者評価を得る準備を進めている。また、高等教育無償化の更新確認申請を行い、東京都より高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定されました。

生徒募集については、幅広い入学生の募集に取り組み、社会人の増加のほか、中国、ミャンマー、ベトナムからも受け入れました。



大学トピックス

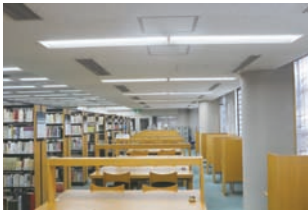
東京消防庁救急部長からの感謝状を戴きました

本学では、東京消防庁本田消防署のご協力のもと、平成20年度から「普通救急講習(AED講習)」を学友会の主催により継続し、現在までに502名の学生が普通救命資格を取得しております。この長年の取り組みに対して、「救急の日」にあたる令和2年9月9日(水)、東京消防庁本田消防署長様から感謝状を戴くことができました。



学生の意見を取り入れた学びの環境を提供しています

本学では、学生パブリックコメント制度に基づき、学生の意見を取り入れた学びの環境を提供しています。学生パブリックコメント制度は、学生の意見を可能な限り対応し、学生が有意義で充実した大学生活を送れるよう、学修環境や学生支援の向上に努めることを目的としています。学生の意見要望により、新たに取り入れた環境の一部をご紹介します。



図書館の照明LED化



学内Wi-Fi設置



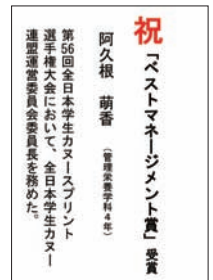
相談スペースの充実



トレーニング器具設置

本学の学生が「ベストマネージメント賞」を受賞しました

令和2年9月19日～22日の4日間に亘り、第56回全日本学生カヌープリント選手権(インカレ)が、石川県小松市木場湯カヌー競技場にて開催されました。その中で、管理栄養学科4年次生 阿久根萌香さんは、今年度の全日本学生カヌー連盟運営委員会の委員長を務め、表彰式において「ベストマネージメント賞」を受賞しました。



令和3年度 東京聖栄大学 学生募集要項 (抜粋)

東京聖栄大学 健康栄養学部 (共学) / 管理栄養学科・食品学科 (募集定員は両学科とも80名)
フードサイエンスコース・フードビジネスコース

入試区分	試験日	選抜方法
総合型選抜入試(自己推薦型)	12月19日(土)	調査書、大学入学希望理由書、面接、基礎学力検査
社会人入試	I期	12月19日(土)
	II期	2月25日(木)
一般選抜入試 (3科目型/2科目型)	I期	1月28日(木)
	II期	2月11日(木)
	III期	2月25日(木)

入試区分	試験日	選抜方法
一般選抜入試 (大学入学共通 テスト成績利用型)	I期	* 本学独自の試験は無し 大学入学共通テスト成績 (令和2年度・平成31年度大学 入試センター試験成績利用可) * IV期は調査書も積極的に活用。
	II期	
	III期	
	IV期	
総合型選抜入試	3月22日(月)	調査書、大学入学希望理由書、面接、基礎学力検査

- * 上記以外で、「編入学入試(食品学科3・2年次編入)」を実施。(【試験日】I期:12月19日(土)、II期:2月11日(木))
- * 一般選抜入試(3科目型/2科目型) I期は、「入試成績優秀者特待生制度」「学外試験会場(新潟会場)」対象入試。
- * 一般選抜入試(3科目型/2科目型、大学入学共通テスト成績利用型)は、インターネット出願可能。
- * 各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については、本学ホームページ並びに「令和3年度学生募集要項」にてご確認ください。

ミニオープンキャンパス 12/5(土)

【開催時間】13:00～16:00*要予約
*【オンライン】大学説明会、個別相談会も随時開催。日程等詳細は、本学ホームページよりご確認ください。

<お問い合わせ先> 入試・広報課 TEL: 03-3692-0238(直通) E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6
TEL: 03-3692-0211(代)

URL <https://www.tsc-05.ac.jp/>